使用上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

使用上のご注意

	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
	指定の電池(単4型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には+極と−極があります。)故障の原因となります。
	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

使用上のご注意

禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。
本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけ　が、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。 また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカ ーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクタは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

● 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2，000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
● ランプは消耗品扱いです。
● ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
● ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

● 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
● 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
● レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
● やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
● Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windous XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
● 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
● 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

当クラスＢデジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞ぐもののない場所に設置してください。 例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがあるため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
6. 物理的に破損していたり、誤用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや誤用とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
   - 装置を落とした。
   - 電源装置のコードまたはプラグが損傷している。
   - プロジェクタに液体をこぼした。
   - プロジェクタを、雨や湿気にさらした。
   - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる。

   お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクタ内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切な専門技術者しか行うことができません。

安全上のご注意

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- 警告- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。
- 警告- 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプ モジュールを交換した場合は、オン スクリーン 表示の「システム|ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してリセットします。
- 警告- プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱してください。
- 警告- プロジェクタの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。
- 警告- ランプの寿命に近づく、「ランプを交換してください」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

推奨事項:

❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
❖ ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞ぐ。
❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄する。
❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に温度が高いか低い場所、あるいは湿気の多い環境。
    - 室温が 5°C ～ 35°C の範囲に保たれていることを確認します。
    - 相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。

3D機能を用いて3Dプロジェクタを見る

重要な安全情報。ご自身で、またはお子様が3D機能を使用される前に、次の警告をお読みください。

警告

❖ 幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は、念入りに監督ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

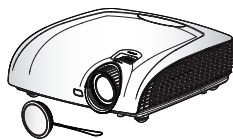
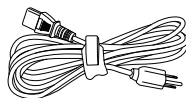
❖ プロジェクタの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合またはてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
❖ てんかんや発作の個人歴または家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。

- ❖ 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3Ｄ機能のご使用はお控えください。
- ❖ 次の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください。(1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4)眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5)混乱状態、(6)吐き気、(7) 意識喪失、(8)痙攣、(9)急激な腹痛、及び/または (10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、または上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器の使用を中止し、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- ❖ 長時間、かなり画面の近くに座って３Ｄプロジェクタを鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- ❖ 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3プロジェクタの鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3プロジェクタの鑑賞を中止し、休憩ください。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。その他目的（通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど）のための3D眼鏡の着用は、身体的に有害であり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞では、見当識障害を引き起こす人も一部います。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクタを設置しないでください。

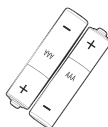
目の安全に関する警告

- 常にプロジェクタの光線を見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。 できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクタを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

パッケージの概要

お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開けて、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。付属品が足りない場合は、Optoma カスタマーサービスまでご連絡ください。

レンズ キャップ付プロジェクタ

電源コード 1.8m

❖ 国によってアプリケーションが異なるため、一部の地域では別のアクセサリが付く場合があります。

IR リモコン

単 4 電池(2本)

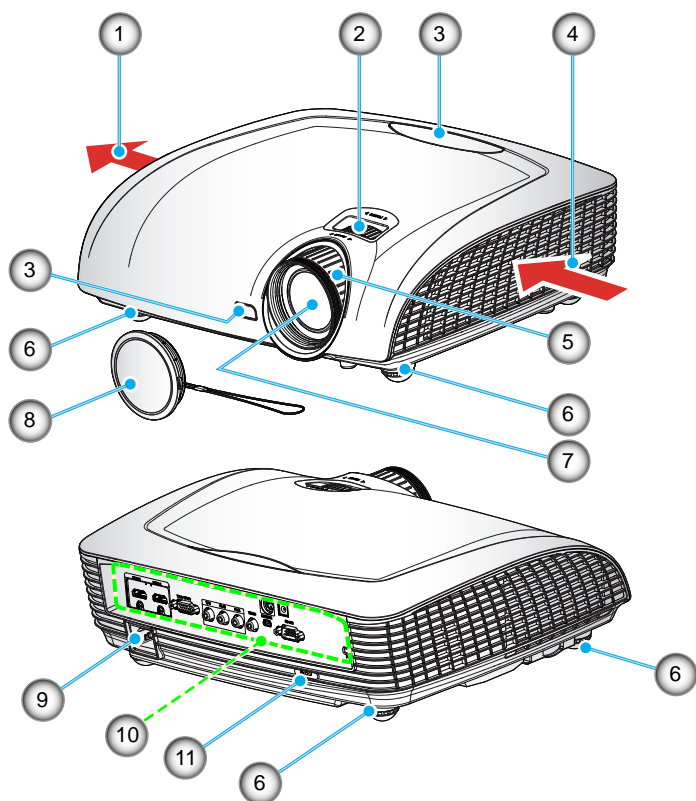
電源コードについて注意事項:

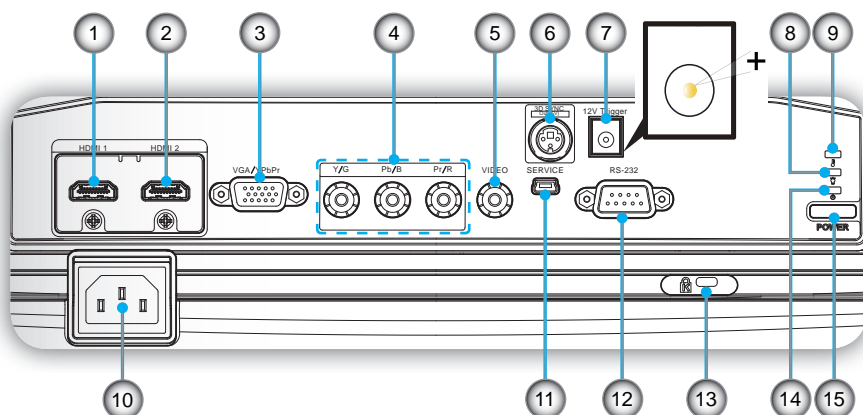
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海外での使用できません。

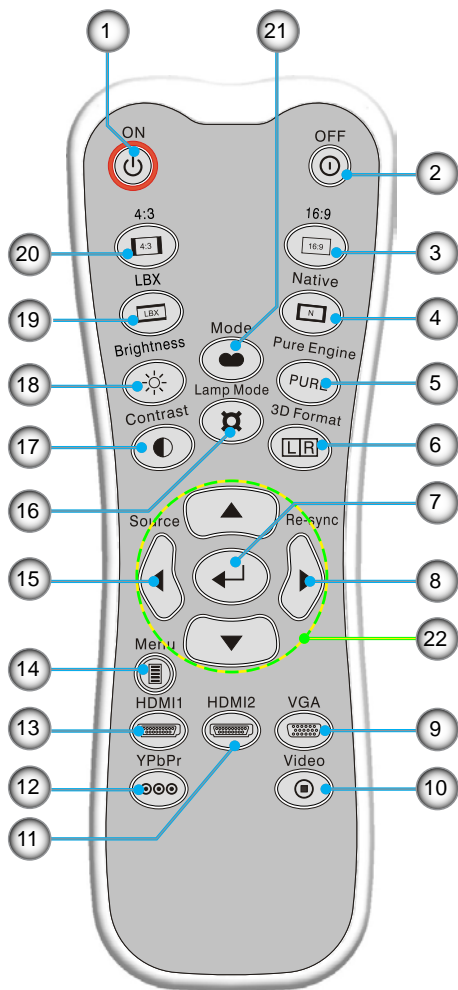
文書:

☑ ユーザーズマニュアル
☑ 保証書
☑ クイック スタート カード
☑ WEEE カード

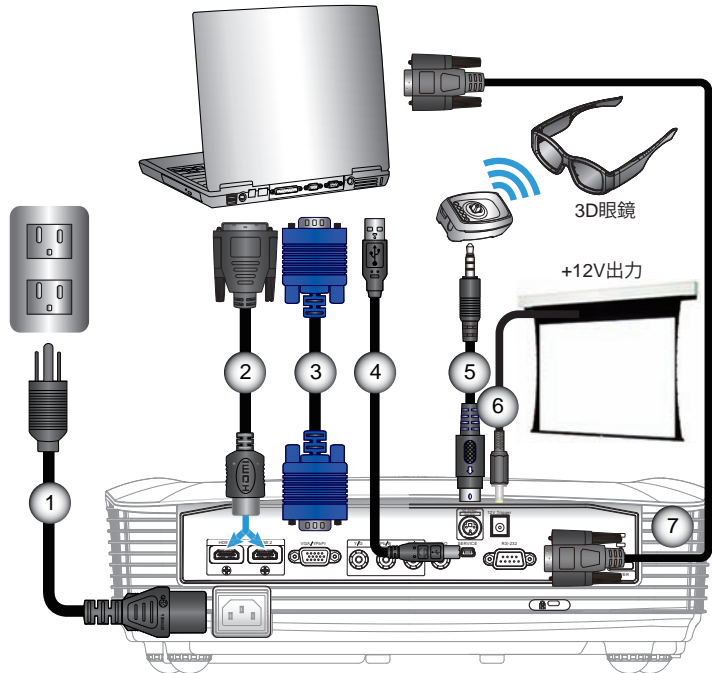
製品の概要

本体

1. 換気(排気口)
2. ズーム リング
3. 赤外線レシーバー
4. 換気(吸気口)
5. フォーカス リング
6. チルト調整フット
7. ズーム レンズ
8. レンズキャップ
9. 電源ソケット
10. 入/出力 接続端子
11. Kensington™ ロック ポート

接続ポート

1. HDMI1入力端子
2. HDMI2入力端子
3. VGA-In/YPbPr端子
   （PC アナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/YPbPr用）
4. コンポーネントビデオ入力端子
5. コンポジット ビデオ入力端子
6. 3D同期出力（5V）端子
7. 12Vトリガ継電器(12V, 250mA)
8. ランプLED (プロジェクタのランプのステータスを表示します)
9. 温度LED (プロジェクタの温度のステータスを表示します)
10. 電源ソケット
11. USBサービス
12. RS-232 コネクタ(9 ピン)
13. Kensington™ ロック ポート
14. 電源LED (プロジェクタの温度のステータスを表示します)
15. 電源ボタン

リモコン

1. 電源オン
2. 電源オフ
3. 16:9
4. ネーティブ
5. PureEngine
6. 3D映像フォーマット
7. 入力する
8. 再同期
9. VGA ソース
10. ビデオソース
11. HDMI 2ソース
12. YPbPrソース
13. HDMI 1ソース
14. メニュー
15. ソース
16. ランプモード
17. コントラスト
18. 輝度
19. LBX
20. 4:3
21. モード
22. 4方向選択キー

プロジェクタの接続

コンピュータ / ノート パソコンへの接続

- 付属品は、お住まい の国や地域によって 異なる場合があります。
- * オプションアクセサリ

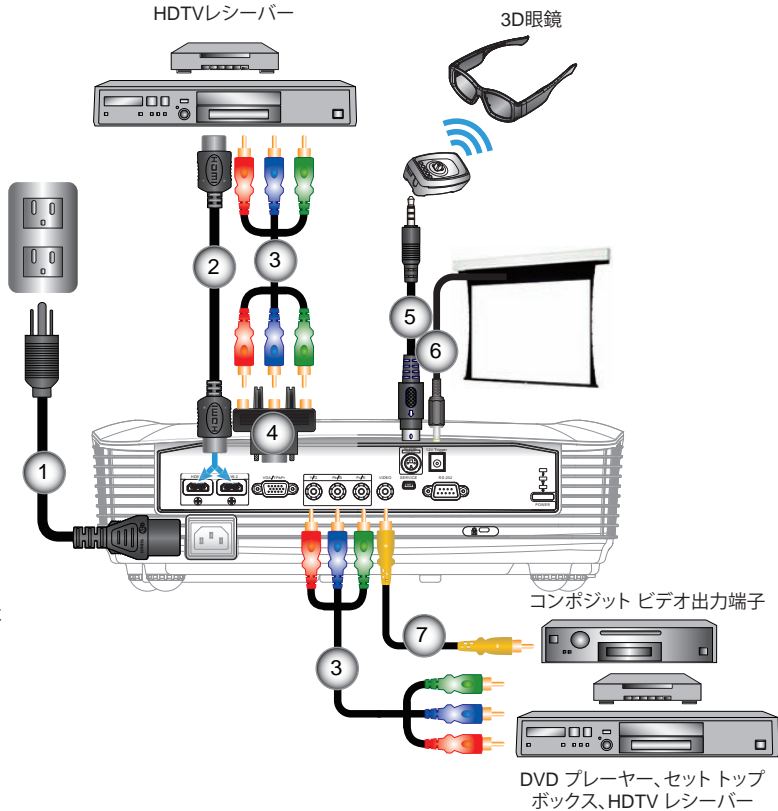
1. 電源コード
2. DVI/HDMIケーブル*
3. VGA ケーブル*
4. USBケーブル*
5. エミッターケーブル*
6. 12V DCプラグ*
7. RS232ケーブル*

ビデオに接続

DVD プレーヤー、セット トップ ボックス、
HDTVレシーバー

3D眼鏡

コンポジット ビデオ出力端子

DVD プレーヤー、セット トップ
ボックス、HDTV レシーバー

- 付属品は、お住まい の国や地域によって 異なる場合があります。
- 12Vトリガはプログラム可能なトリガです。
- 3Dエミッターと3D眼鏡の接続に関する詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。
- 高品質HDMIケーブルを使用してBlue-ray 3Dプレーヤーを接続します。
- * オプションアクセサリ

1. 電源コード
2. HDMIケーブル*
3. RCAコンポーネントケーブル（YPbPr用）*
4. VGA対RCAコンポーネントケーブル （YPbPr用）*
5. エミッターケーブル*
6. 12V DCプラグ*
7. コンポジット ビデオ ケーブル*

3Dビデオデバイスへの接続

- 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3Dビデオソースと3Dプロジェクタの電源をオンにします。

プレイステーション® 3つのゲーム

- プレイステーション® 3の最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- 「Settings menu (設定メニュー) -> Display settings (表示設定) -> Video output (ビデオ出力) -> HDMI」へお進みください。「Automatic (自動)」を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、プレイステーション®経由でゲームをダウンロード（及び3Ｄのアップデート）することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで「Play in 3D (3Ｄを起動)」を選択ください。

Blu-ray 3D™ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray™ディスクに対応し、3Ｄ出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray™ディスクをプレーヤーに挿入し、「Play (プレイ)」を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Ｄチャンネルがあるかどうか、TVプログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Ｄチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つのイメージが出現します。
- 3Dプロジェクタの「SBSモード」に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

2D 1080iサイドバイサイド信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2Dサイドバイサイド出力を伴う3Ｄコンテンツから3Dプロジェクタに切り替えてください。
  - 並行する2つのイメージが出現します。
- 3Dプロジェクタの「SBSモード」に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

HDMI 1.4a ソース(例、3D Blu-ray)から3Dコンテンツを見る場合、3D眼鏡を常に同期させる必要があります。HDMI 1.3 ソース(例、SBSモードを使用する3D放送コンテンツを見ている場合、プロジェクタの3D同期反転オプションを使用して3D体験を最適化する必要があります。オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー ->3D」セクションにあります。

- 入力ビデオが通常の2Dの場合、「Off(オフ)」にするために「3D Format(3D映像フォーマット)」を押し「Off(オフ)」に切り替えてください。
- [SBSモード]が作動している場合、入力映像はサイドバイサイドフォーマットではないとビデオの内容は正しく表示されません。その時は「SBSモード」をオフにして、通常の設定に戻ります。

ここで使用されているその他製品名、企業名、商標は、検証目的のためだけに使用され、商標や登録商標はそれぞれ所有者が存在します。全てのイメージはシュミレーションです。

3D眼鏡の使用

❖ 詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

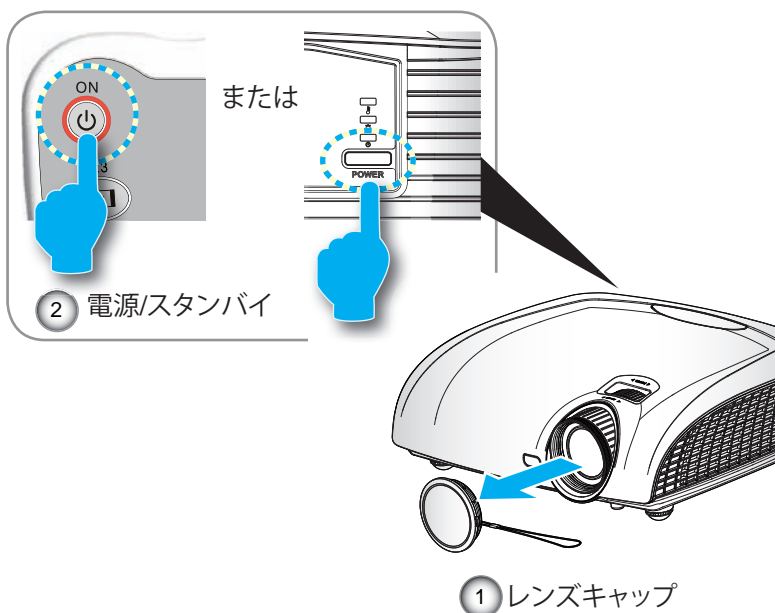
1. 3D眼鏡をオンにする:「電源」ボタンを押すと、LEDが一度点滅し、眼鏡が3Dモード用になったことを知らせます。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. 「3Dモード」(DLP-Link/VESA 3D - 使用している眼鏡のタイプによって異なります)をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。
4. 3D 眼鏡をオンにすると、眼の疲れなしの3Ｄで検証イメージが表示されます。
5. 3Dでイメージが表示されない場合、3D イメージを送付しているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が2D 1080iサイドバイサイドの際、「SBSモード」がオンとなっているかお確かめの上、上述の1～4のステップを再試行してください。
6. 3Dイメージが表示されているとき、プロジェクタの「3D同期反転」オプションを3Dを最適化します。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする: LEDスイッチがオフになるまで、「電源」ボタンを押し続けてください。
8. 詳細につきましては、3D眼鏡ユーザーガイド、またはメーカーサイトをご参照ください。

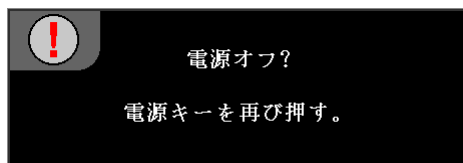
プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源オン

1. レンズ キャップを取り外します。❶
2. 電源コードとシグナルケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
3. プロジェクタ背面またはリモコンの「電源」ボタンを押して、またはリモコンの「⏻」ボタンを押してランプの電源を入れます。電源 LED が青で点滅します。❷
   起動画面は約 30 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用する場合、起動画面が表示された後にクイック メニューから使用言語を選択できます。
4. スクリーンに表示したいソース（コンピュータ、ノートPC、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出し、スクリーンに表示します。検出されない場合、「メニュー」 ボタンを押して、「設定」 を開きます。「ソースロック」 が 「オフ」 になっていることを確認してください。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、リモコンの「ソースロック」ボタンまたは直接ソースキーを押して入力を切り換えることができます。

❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

プロジェクタの電源を切る

1. リモコンの「OFF」ボタンまたはプロジェクタ背面の「電源」ボタンを1秒間隔で2度押すと、プロジェクタの電源が切れます。初めてボタンを押すと、画面に次のメッセージが表示されます。

「OFF」ボタンをもう一度押してシャットダウンを確認してください。ボタンを押さないと、メッセージは 15 秒後に消えます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約 60 秒間動作を続け、電源LEDは青に変わり点滅します。ライトが赤く点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「POWER(電源)」ボタンまたは「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

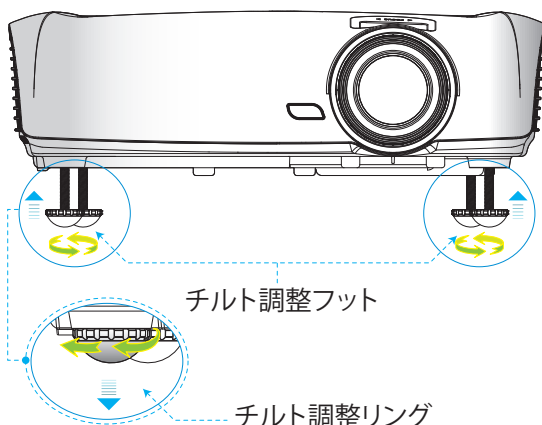
- 「ランプ」インジケータがオレンジに点灯すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの Optoma 取扱店にご連絡ください。
- 「温度」インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクタが過熱状態であることを意味します。プロジェクタは、自動的にシャットダウンします。
- 通常の条件下で、プロジェクタは、冷ました後に再び電源を入れることができます。
- 「温度」インジケータが赤色に点滅している場合、ファンが故障していることを意味します。
- プロジェクタの熱が冷めた後、リモコンの「▲」ボタンを10秒間押してエラーモードをスタンバイモードにできます。

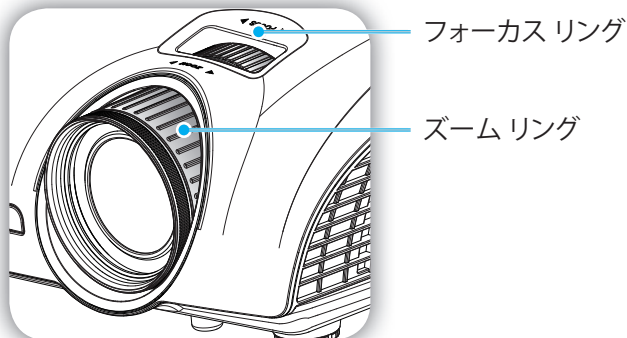
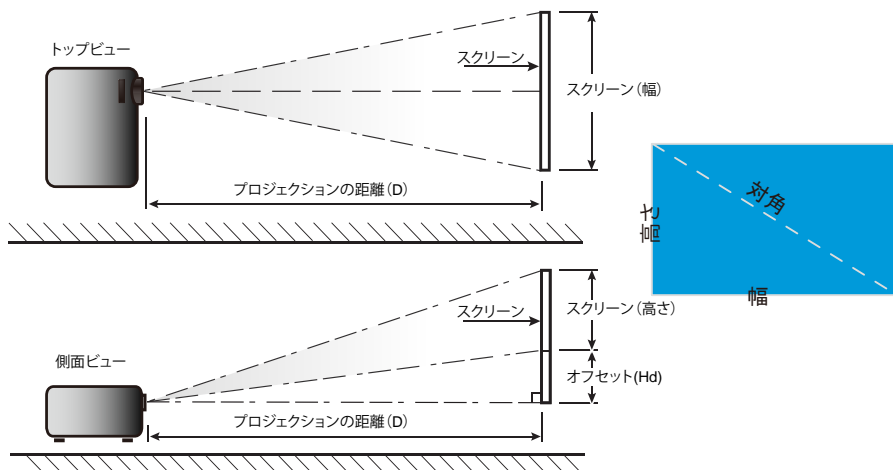
- プロジェクタにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。

投射イメージの調整

プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射イメージの高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整リングを時計周りに回すとプロジェクタの高さが高くなり、反時計周りに回すと高さが下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

ズーム リングを回してズームイン/ズームアウトします。映像のピントを調節するには、くっきりした映像が表示されるように、フォーカス リングを回します。
本プロジェクターは、1.0 ～ 10.0 mの距離内でピントを合わせることができます。

プロジェクタのイメージサイズの調整

16:9スクリーンの対角長（インチ）サイズ	スクリーンサイズ 幅 x 高さ (16:9)				投射距離				オフセット (Hd)	
	(m)		(フィート)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
38	0.84	0.47	2.76	1.55	--	1.51	--	4.97	0.08	0.25
45	1.00	0.56	3.27	1.84	1.49	1.79	4.89	5.88	0.09	0.29
50	1.11	0.62	3.63	2.04	1.66	1.99	5.45	6.54	0.10	0.33
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.99	2.39	6.54	7.84	0.12	0.39
70	1.55	0.87	5.08	2.86	2.32	2.79	7.63	9.15	0.14	0.46
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.66	3.19	8.72	10.46	0.16	0.52
90	1.99	1.12	6.54	3.68	2.99	3.59	9.81	11.77	0.18	0.59
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.32	3.98	10.89	13.07	0.20	0.65
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.98	4.78	13.07	15.69	0.24	0.78
150	3.32	1.87	10.89	6.13	4.98	5.98	16.34	19.61	0.30	0.98
200	4.43	2.49	14.53	8.17	6.64	7.97	21.79	26.15	0.40	1.31
300	6.64	3.74	21.79	12.26	9.96	--	32.68	--	0.60	1.96

❖ 図は、ユーザーの参考用の目安です。

リモコン

リモコンの使用		
電源オン	⏻	プロジェクタの電源をオンにします。
電源オフ	ⓘ	プロジェクターの電源をオフにします。
ランプモード	¤	ランプの輝度を調整します。
ディスプレイモード		シネマ、ブライト、フォト、参照、3D、ISF昼、ISF夜、ユーザーからディスプレイモードを選択します。
4:3	4:3	4:3のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
16:9	16:9	16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
LBX	LBX	全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。
ネーティブ	N	入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
輝度	☼	画像の輝度を調整します。
コントラスト	◐	映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
PureEngine	PURE	PureEngineは高度なイメージ処理技術を集めたもので、表示されたイメージの品質を向上します。
3D映像フォーマット	L|R	「3D映像フォーマット」を押して「オフ」と「SBS」を切り替え、上/下ボタンを使用して「Top and Bottom」または「Frame Sequential」に切り替えてから「Enter」を押して確認します。

リモコンの使用		
入力する	↵	選択した項目を確定します。
ソース	◀	「ソース」を押して入力信号を選択します。
再同期	▶	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
メニュー		プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI 1		「HDMI 1」を押してHDMI 1コネクタからソースを選択します。
HDMI 2		「HDMI 2」を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
VGA		「VGA」を押してVGA/YPbPrコネクタからソースを選択します。
YPbPr		「YpbPr」を押してコンポーネントビデオソースを選択します。
ビデオ		「ビデオ」を押してコンポジット ビデオ ソースを選択します。
4 方向選択キー		方向選択キーを使用して項目を選択するか ▲▼◀▶ 、選択に合わせて調整を行います。

オンスクリーンディスプレイ メニュー

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押します。
2 OSDが表示されたら、▲▼ キーを使ってメイン メニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、► または「入力する」キーを押してサブ メニューへ進みます。
3. ▲▼ キーを使用してサブメニューの目的の項目を選択し、►または「入力する」キーを押して詳細設定を表示します。◄►キーで設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「入力する」または「メニュー」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメイン メニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーン メニューが閉じられ、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。

メニュー ツリー

メイン メニュー	サブ メニュー		設定
イメージ	ディスプレーモード		シネマ / 明るい / フォト / 参照 / 3D / ISF昼 / ISF夜 / ユーザー
	コントラスト		-50~50
	輝度		-50~50
	シャープネス		0~15
	#1 カラー		-50~50
	#1 色合い		-50~50
	詳細	ノイズ　リダクション	0~10
		γ	映画 / ビデオ / グラフィック / 標準
		PureEngine	PureDetail / PureColor / PureMotion / PureEngine Demo / 終了
		色設定	
		色温度	暖色 / 標準 / 高
		RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤バイアス / 緑バイアス / 青バイアス / リセット / 終了
		色空間	自動 / RGB / YUV
			#2 自動 / RGB /(0-255) RGB /(16-235) YUV
		終了	
ディスプレー	フォーマット		#3 4:3 / 16:9 / LBX / ネーティブ
			#4 4:3 / スーパーワイド
	ズーム		0~10
	エッジマスク		0~5
	垂直イメージ シフト		-50~50
	垂直キーストン		-30~30
	スーパーワイド		オフ / オン (2.35:1) / オン (16:9) / 自動
	3D	3D モード	DLP リンク / VESA 3D
		3D -> 2D	3D / L / R
		3D映像フォーマット	オフ / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential
		#5 3D同期反転	オン / オフ
		終了	
システム	メニュー位置		
	ランプ設定	ランプ使用時間	
		ランプ警告	オン / オフ
		ランプモード	標準 / 明るい / Image AI
		ランプリセット	キャンセル / はい
		終了	
	投射方式		
	テストパターン		オフ / グリッド / ホワイトパターン
	背景色		ダークブルー / グレイ / 黒
	12Vトリガ		オン / オフ

メイン メニュー	サブ メニュー		設定
設定	言語		**English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk/Dansk / Polski / Русский / Suomi ελληνικά / Magyar / Čeština / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Türkçe / ไทย**
	入力ソース		HDMI 1 / HDMI 2 / コンポーネント / VGA / ビデオ / 終了
	ソースロック		オン / オフ
	高度		オン / オフ
	信号捜索情報隠し		オン / オフ
	自動電源オフ(分)		0~180
	信号 (VGA)	周波数	0~100
		位相	-50~50
		水平位置	-50~50
		垂直位置	-50~50
		自動	有効 / 無効
		終了	
	信号 (ビデオ)	ホワイトレベル	-50~50
		ブラックレベル	-50~50
		彩度	-50~50
		色合い	-50~50
		IRE	0 / 7.5
		終了	
	リセット	現在	キャンセル / はい
		全部	キャンセル / はい

- オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューは、選択した信号タイプと使用中のプロジェクタモデルによって異なることにご注意ください。
- (#1)「カラー」と「色合い」は、ビデオ モードでのみサポートされます。
- (#2) HDMIモデル専用です。
- (#3) SurperWideが「オフ」の場合です。
- (#4) SurperWideが「オン」の場合です。
- (#5)「3D同期反転」は、3Dが有効になっているときのみ使用できます。

イメージ

❖ ISFモードが較正されていないとき、「ISF昼」と「ISF夜」は表示されません。

ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- シネマ：ホーム シアター用。
- 参照：このモードは、映画監督が意図したように、イメージをできるだけアップにして再生することを目的としています。色、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。PureEngine画像処理は無効になります。
- フォト：写真イメージの表示用に最適化されています。
- 明るい：PC入力に対する最大輝度。
- 3D：有効にされた3Dモードの推奨設定。ユーザーが 3D で調節を行うと、新しい設定が保存され、次からはこの設定を利用できます。
- ISF昼：ISF昼モードでイメージを完全に較正し高品質画像になるように最適化します
- ISF夜：ISF夜モードでイメージを完全に較正し高品質画像になるように最適化します
- ユーザー：ユーザー自分の設定。

❖ 「カラー」と「色合い」は、コンポジットとコンポーネントソースに対してのみサポートされます。

コントラスト

コントラストは、イメージやイメージの最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、イメージの黒と白の量が変化します。

- ◄ を押すとコントラストが下がります。
- ► を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◄ を押すと画像が暗くなります。
- ► を押すと画像が明るくなります。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◄ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ► を押すと画像の彩度が高くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◄ を押すと画像の緑が強くなります。
- ► を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◄ を押すとシャープネスが下がります。
- ► を押すとシャープネスが上がります。

イメージ| 詳細

ノイズ リダクション

ノイズ リダクションは、目に見えるノイズインターレース信号の量を減少します。範囲は「0」から「10」の間です。(0: オフ)

γ

これにより、γのカーブタイプを設定できます。初期設定と微調整が完了したら、γ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- 映画：ホームシアター用。
- ビデオ：ビデオまたは TV ソース用。
- 標準：標準化された設定用。
- グラフィック：イメージ ソース用。

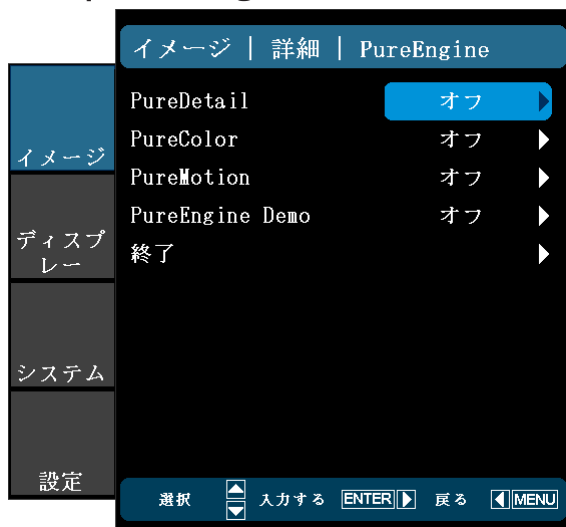
PureEngine

PureEngineは高度なイメージ処理技術を集めたもので、表示されたイメージの品質を向上します。

色設定

► を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

❖ 3Dがオンになっているとき、ダイナミックブラック機能は無効になります。

イメージ| 詳細 | PureEngine

PureDetail

PureDetail はエッジ強調ツールで、投射された画像のエッジを強調し、それによって細部をよりくっきりと表示できるようになります。

PureColor

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。範囲は「0」から「5」の間です。

PureMotion

PureMotionは最新のアルゴリズムを使用して、画像の自然な動きを失わないようにしています。

PureEngine Demo

この機能により、生の処理されていない画像と PureEngine で処理された画像の画質の違いを見ることができます。このモードを使用して、PureEngine 設定に対して行った調整をチェックします。

- 入力ソースが120Hzタイミングになっていると、PureMotion機能はこのタイミングをサポートせず灰色で表示されます。

イメージ| 詳細| 色設定

<u>色温度</u>

[冷色] に設定した場合、イメージは青みがかった色合いになります。(冷たいイメージ)
[暖色] に設定した場合、イメージは赤みがかった色合いになります。(暖かいイメージ)

<u>RGBゲイン/バイアス</u>

► を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

- ◄ か ► を使って、輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)について赤、緑、青を選びます。
- リセット:「はい」を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

❖ (*) HDMI専用です。

色空間

自動、RGB、RGB(0-255)(*)、RGB(16-235)(*)、YUVから適切なカラーマトリックス タイプを選択します。

ディスプレー

フォーマット

ここで、好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは、4x3入力ソース用です。
- 16:9: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような16x9入力用です。
- LBX：16x9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部アナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ネーティブ：このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- 自動: 適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

LBX モードに関する詳細情報：

1. 一部のレターボックス形式 DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って16:9ディスプレーに画像を合わせることができます。
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1440 x 1080 中央				
16:9	1920 x 1080 中央				
LBX	1920 x 1440 センター、それから表示する1920 x 1080イメージにします				
ネーティブ	画像のサイズ変更、1:1マッピング、中央揃えはされません。このフォーマットは元の画像を拡大縮小なしで表示します。				
自動	このフォーマットを選択すると、画面タイプは16:9 (1920x1080)になります ソースが4:3の場合、1440 x1080に自動的にサイズ変更されます ソースが16:9の場合、1920x1080に自動的にサイズ変更されます ソースが16:10の場合、1920 x 1200に自動的にサイズ変更され、表示する1920x1080領域が切り取られます				

ズーム

- ◄ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ► を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

エッジマスク

エッジマスク機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをエッジマスクしてビデオ ソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

垂直イメージシフト

投射された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

◄ または ► を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

スーパーワイド

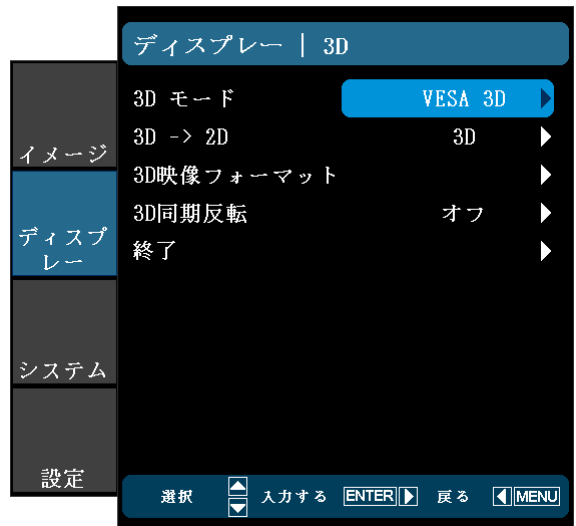
スーパーワイドは特殊な2.0:1アスペクト比画面を使用して、16:9と2.35:1アスペクト比のムービーを、画面の上下に黒いバーなしに表示することができる機能です。

- オフ：希望するアスペクト比は4:3、16:9、レターボックス、ネーティブから選択できます。
- 自動: フィルム形式の違いを解決するために、オプションで形式を同じ比に維持することができます。
- オン (16:9)：16:9フォーマットのみを選択できます。
- オン (2.35:1) 2.35:1フォーマットのみを選択できます。

3D

► を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

- 「スーパーワイド」は、デフォルトでは「オフ」です。
- 「スーパーワイド」の使用法
  1. 2.0:1アスペクト比の画面を表示します。
  2. スーパーワイドをオンに切り替えます。
  3. プロジェクタの画像を画面に正しく合わせます。
  4. 黒いバーなしにムービーをお楽しみいただけます。

ディスプレー | 3D

3Dモード

- DLP リンク：「DLPリンク」を選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。(23ページを参照してください)。
- VESA 3D：「「VESA 3D」を選択してVESA 3D眼鏡の最適化された設定を使用します。(21ページを参照してください)。

3D -> 2D

- 3D：3D信号を表示します。
- L (左)：3Dコンテンツの左フレームだけを表示します。
- R (右)：3Dコンテンツの右フレームだけを表示します。

3D映像フォーマット

- オフ：「オフ」を押して3D映像フォーマット変換を無効にします。
- Side By Side：「サイドバイサイド」フォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom：「Top and Bottom」フォーマットで3D信号を表示します。
- Frame Sequential：「Frame Sequential」フォーマットで3D信号を表示します。

- 「3D映像フォーマット」は非HDMI 1.4a 3Dタイミングでのみサポートされます。
- 「入力する」を押して3D映像フォーマットを選択します。

❖ 「3D同期反転」機能では設定を保存しません。電源がオンの時に「オフ」に設定すると、ソースが変更されます。

3D同期反転

- 「オン」を押して左右のフレームコンテンツを反転します。
- デフォルトのフレームコンテンツの場合「オフ」を押します。

システム

❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

❖ 3Dがオンになっているとき「テストパターン」機能は灰色で表示されます。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

ランプ設定

► を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

投射方式

- 正面-投射方式

  これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

- 裏面-卓上

  選択されると、画像を左右逆向きに表示します。

- 正面-天吊り

  選択されると、画像を上下逆向きに表示します。

- 裏面-天吊り

  選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

テストパターン

テストパターンを表示します。格子、ホワイト、オフがあります。

背景色

この機能を使用して、信号が利用できない場合「青」、「黒」、または「グレイ」スクリーンを表示します。

12Vトリガ

- 「オフ」を押してトリガを無効にします。
- 「オン」を押して、トリガとプログラム可能サブメニューを有効にします。

システム | ランプ設定

ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

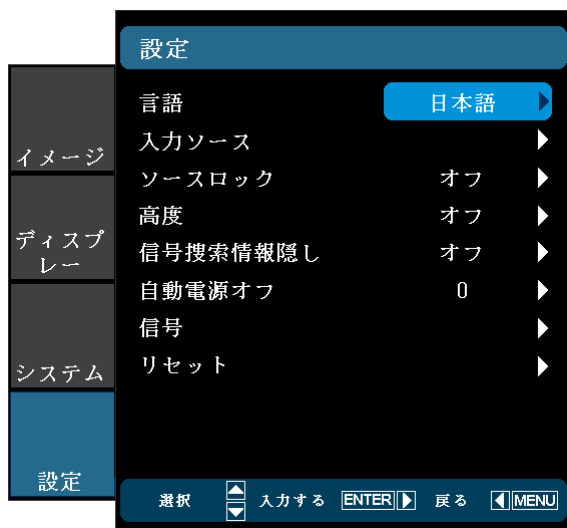
ランプモード

- 明るい:「明るい」を選択すると明るさが増します。
- 標準:「標準」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- Image AI
  Image AI は、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

❖ 「ランプモード」は2Dと3Dに対して個別に異なる設定をすることができます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプ寿命時間をリセットします。

設定

言語

多言語対応オン スクリーン メニューをご希望の言語に設定します。サブメニューのまたは ◀ または ▶ を押し、▲ または ▼ を使ってお好みの言語を選択します。「選択 (入力する)」を押すと選択が確定されます。

入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。「選択 (入力する)」を押すと選択が確定されます。プロジェクタは、選択を解除されている入力は検索しません。

ソースロック

- オン: プロジェクタは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ: 現在の入力シグナルがない場合、プロジェクターは他のシグナルを検索します。

高度

「オン」を選択すると高度モードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高度においてプロジェクタを適切に冷却します。

信号捜索情報隠し

- 「オン」を選択すると、「情報メッセージ」が非表示になります。
- 「オフ」を押すと、「検索中」のメッセージが表示されます。

自動電源オフ

信号入力がない場合、システムのパワーオフの間隔を設定します。(分)。

信号

► を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- 現在：現在の信号の設定を工場出荷時の値にリセットします。
- 全部：すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

設定 | 信号 -RGBソース

❖ 「信号」は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。

周波数

ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。

位相

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

水平位置

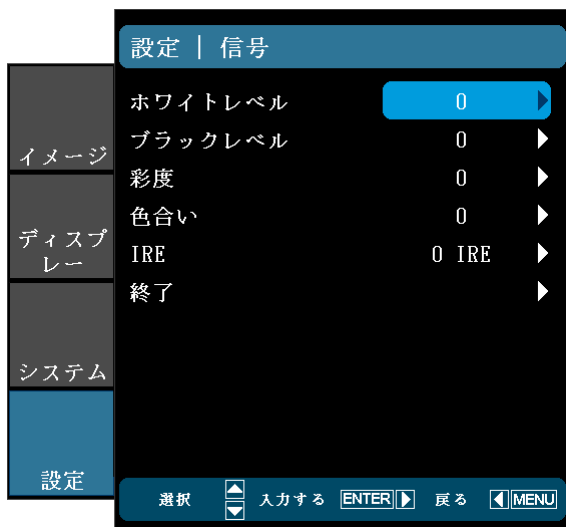
- ◄を押すとイメージが左に移動します。
- ►を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

- ◄を押すとイメージが下に移動します。
- ►を押すとイメージが上に移動します。

自動

- 信号を自動的に選択します。この機能を使用する場合、周波数と位相項目は灰色で表示されます。信号が自動でない場合、その後、プロジェクタが次に再びオフになり再びオンになるとき、周波数と位相項目は手動で微調整され設定で保存されるようにユーザーには見えます。

設定 | 信号 -ビデオソース

- 入力ソースがHDMIまたはDVI-Dになっているとき、「信号」はサポートされません。
- 「IRE」はNTSC信号でのみサポートされます。

ホワイトレベル

Sビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。

ブラックレベル

S-ビデオやビデオ/ CVBS シグナルを入力する場合、ユーザーがブラックレベルを調整できます。

彩度

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◄ を押すと画像の色の量が減少します。
- ► を押すと画像の色の量が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◄ を押すと画像の緑が強くなります。
- ► を押すと画像の赤が強くなります。

IRE

- コンポジット ビデオ シグナルの尺度を調整します。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- プロジェクタ ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクタの電源が入っているか確認してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクタと投射スクリーン間の距離が1.5～999.74cm以内の使用目安範囲内あることを確認してください。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- プロジェクタパネルの「メニュー」を押し、「ディスプレー --> フォーマット」に進みます。 別の設定を試してみます。

❓ 画像の両側が斜めになる:

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーン中央下端に来るように配置し直してください。
- OSDから「ディスプレー-->垂直キーストーン」を使用して調整を行います。

❓ 画像が反転する

- OSDから「システム-->投射方式」を選択し、投射方向を調整します。

❓ ぼやけた二重画像

- 通常の2D画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3Dフォーマット」ボタンを押して「オフ」にしてください。

❓ 2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号がHDMI 1.3 2D 1080iサイドバイサイドとなるように、「3Dフォーマット」ボタンを押して「SBS」に切り替えてください。

❓ 3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号がHDMI 1.3 2D (1080iサイドバイサイド)になっているとき、「3Dフォーマット」ボタンを押して「SBS」に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

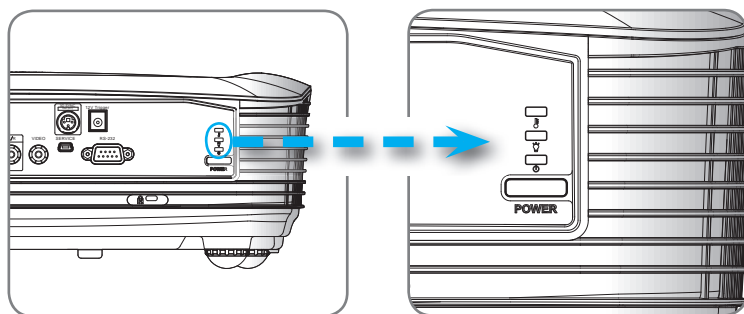
リモコンの問題

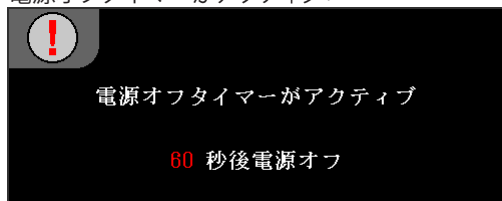
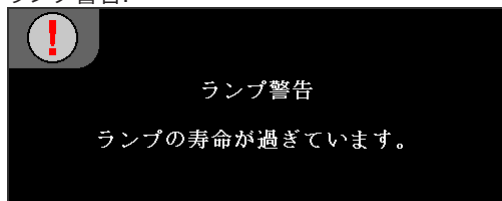
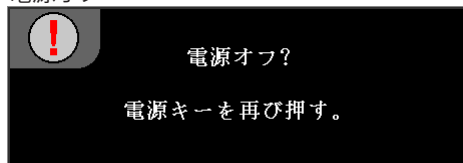
リモコンが作動しない場合、次を確認してください

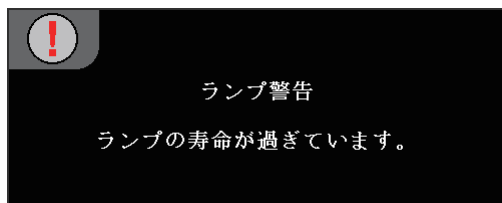
- リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを確認する。 プロジェクタから6m以内 (20フィート) に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

LED 点灯メッセージ

- 電源LEDオン：信号なし、OSDメニューが表示され信号が検出されています。
- 電源LEDオフ：信号は検出されていますが、OSDメニューが表示されません。

メッセージ	電源 LED（赤）	電源 LED（青）	温度インジケータ LED（赤）	ランプ インジケータ LED（オレンジ）
スタンバイ状態 (入力コード)	不動灯	オフ	オフ	オフ
電源オン(ウォーミング)	オフ	点滅	オフ	オフ
ランプのライトをオンにします。	オフ	不動灯 *	オフ	オフ
電源オフ(冷却)	オフ	点滅	オフ	オフ
エラー（ランプトラブル）	点滅	オフ	オフ	不動灯
エラー（ファントラブル）	点滅	オフ	点滅	オフ
エラー（過熱）	点滅	オフ	不動灯	オフ

オンスクリーン メッセージ

❖ 電源オフタイマーがアクティブ:

❖ ランプ警告:

❖ 電源オフ:

ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。

HIGH TEMPERATURE COOL FOR 30 MINUTES.
HIGH PRESSURE LAMP MAY EXPLODE IF IMPROPERLY HANDED.
REFER TO LAMP REPLACEMENT INSTRUCTIONS.DISCONNECT
POWER BEFORE CHANGING LAMP.

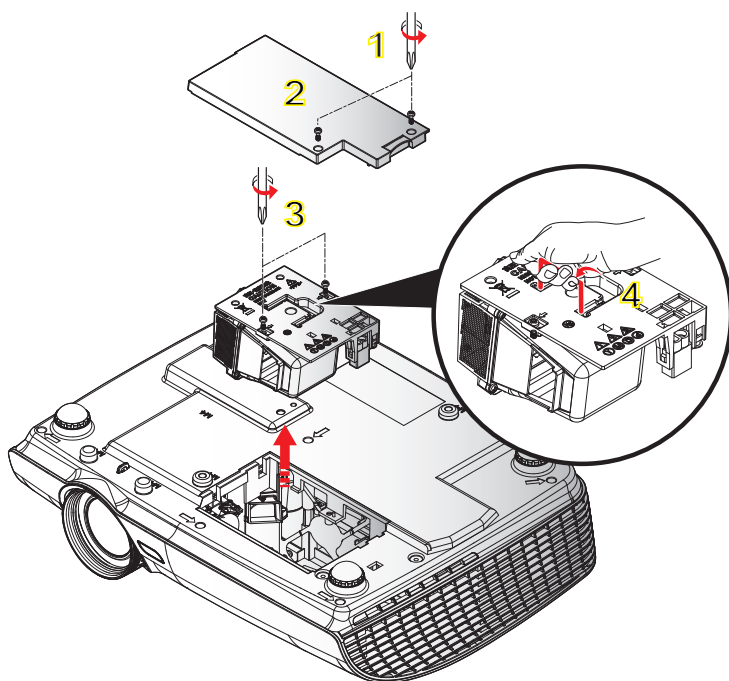
ATTENTION:
A HAUTES TEMPERATURES REFROIDISSEZ PENDANT 30 MINUTES.
Les lampes à haute pression peuvent exploser si elles sont mal utilisées.
Confier l'entretien à une personne qualifiée.
COUPERLE COURANT AVANT DEREMPLACERLE LAMPES.

警告：天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

警告：ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。

警告：怪我の原因となるため、ランプを落としたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

❖ プロジェクタにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクターは動作しません。

❖ ランプのガラス部分には、触れないようにしてくださi.手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

ランプ交換手順:

1. 「電源」ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーの上に付いた2つのネジをゆるめます。1
5. カバーを持ち上げて、取り外します。2
6. ランプモジュールに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。3
7. ランプモジュールを引き出します。4

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
   ランプリセット: (i)「メニュー」を押し -> (ii)「システム」を選択し -> (iii)「ランプ設定」を選択し -> (iv)「ランプリセット」を選択し -> (v)「はい」を選択します。

互換モード

❖ PCのコンピュータ互換性

信号	解像度	水平同期(kHz)	リフレッシュ速度(Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ
NTSC	-	15.734	60	O	-	-
PAL/SECAM	-	15.625	50	O	-	-
	720 x 400	31.5	70	-	O	O
	720 x 400	37.9	85	-	O	O
	720 x 576		50	-	O	O
VGA	640 x 480	31.5	60	-	O	O
	640 x 480		67	-	O	O
	640 x 480	37.9	72.8	-	O	O
	640 x 480	37.5	75	-	O	O
	640 x 480	43.3	85	-		O
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	-	O	O
	800 x 600	37.9	60.3	-	O	O
	800 x 600	46.9	75	-	O	O
	800 x 600	48.1	72.2	-	O	O
	800 x 600	53.7	85.1	-		O
XGA	1024 x 768	48.4	60	-	O	O
	1024 x 768	56.5	70.1	-	O	O
	1024 x 768	60	75	-	O	O
	1024 x 768	68.7	85	-		O
HD720	1280 x 720		50	-	O	O
	1280 x 720		60	-	O	O
	1280 x 720	92.62	120	-	O	O
WXGA	1280 x 768	47.4	60	-	O	O
	1280 x 768		75	-		O
	1280 x 768		85	-		O
WXGA-800	1280 x 800		60	-	O	O
SXGA	1280 x 1024	64	60	-	O	O
	1280 x 1024	80	75	-	O	O
SXGA+	1400 x 1050		60	-	O	O
UXGA	1600 x1200	75	60	-	O	O
HD1080	1920 x 1080		24	-	O	O
	1920 x 1080		50	-	O	O
	1920 x 1080		60	-	O	O
WUXGA	1920 x 1200		60	-		O

信号	解像度	水平同期 (kHz)	リフレッシュ速度(Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ
HDTV	1920 x 1080i		50	-	O	O
	1920 x 1080i		60	-	O	O
	1920 x 1080p		24	-	O	O
	1920 x 1080p		50	-	O	O
	1920 x 1080p		60	-	O	O
	1280 x 720	45	60	O	-	-
	1280 x 720p		50	-	O	O
	1280 x 720p		60	-	O	O
SDTV	720 x 576	31.3	50	O	-	-
	720 x 576i		50	-	O	O
	720 x 576p		50	-	O	O
	720 x 480	31.5	60	O	-	-
	720 x 480i		60	-	O	O
	720 x 480p		60	-	O	O

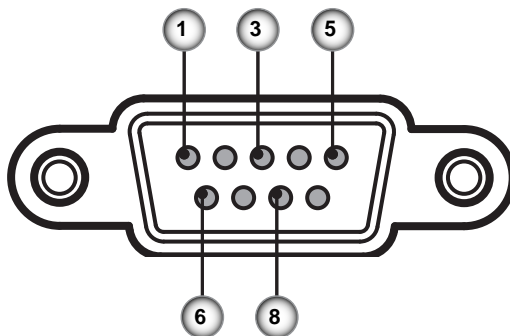
❖ MACのコンピュータ互換性

解像度	リフレッシュ速度(Hz)	Macbookの互換性		Macbook Pro (Intel) の互換性		Power Mac G5 の互換性		Power Mac G4 の互換性	
		デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ
800 x 600	60	O	O	O	O	-	-	O	O
800 x 600	72	O	O	O	O	-	O	O	O
800 x 600	75	O	O	O	O	-	O	O	O
800 x 600	85	-	O	-	O	-	O	-	O
1024 x 768	60	O	O	O	O	-	O	O	O
1024 x 768	70	O	O	O	O	-	O	O	O
1024 x 768	75	O	O	O	O	-	O	O	O
1024 x 768	85	-	O	-	O	-	O	-	O
1280 x 720	60	O	O	O	O	-	O	O	O
1280 x 768	60	O	O	O	O	-	-	O	O
1280 x 768	75	-	O	-	O	-	O	-	O
1280 x 768	85	-	O	-	O	-	-	-	O
1280 x 800	60	O	O	-	O	-	O	O	O
1280 x 1024	60	O	O	-	O	-	O	O	O
1280 x 1024	75	O	O	-	O	-	O	O	O
1920 x 1080	60	O	O	-	O	-	O	O	O
1920 x 1200	60	-	O	-	O	-	O	-	O

❖ 3D入力ビデオの互換性

<table>
<tr><td rowspan="21">入力解像度</td><td rowspan="9">HDMI 1.4a
3D入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 X 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1920 X 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.3 3Dコンテンツ</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td>サイドバイサイド(ハーフ)</td><td rowspan="4">3D映像フォーマットが「Side By Side」になっている間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td><td>サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td>サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td>サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td>最上部から底部まで</td><td rowspan="4">3D映像フォーマットは「Top and Bottom」になっている間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td><td>最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td>最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td>最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2D入力（HDMI/VGAポートを含む）</td><td>1024 x 768 @ 120Hz</td><td>フレームシーケンシャル</td><td rowspan="2">3Dモードの自動適用</td></tr>
<tr><td>1024 x 768 @ 120Hz</td><td>フレームシーケンシャル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2D入力（HDMI/VGA/コンポーネント/コンポジットポートを含む）</td><td>480i</td><td>HQFS</td><td rowspan="2">3D映像フォーマットが「Frame Sequential」になっている間</td></tr>
<tr><td>576i</td><td>HQFS</td></tr>
</table>

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て

Pin 番号	名前	I/O（プロジェクタ側）
1	NC	—
2	RXD	入力
3	TXD	出力
4	NC	—
5	GND	設置シグナル
6	NC	—
7	RTS	—
8	CTS	—
9	NC	—

RS232プロトコル機能リスト

Optoma Data and HT Projectors

HD33

Baud Rate	9600
Data Bits	8
Parity	None
Stop Bits	1
Flow Control	None
UART16550 FIFO	Disable

Note: There is a <CR> after all ASCII commands, 0D is the HEX code for <CR> in ASCII code

Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

XX=01-99, projector's ID, XX=00 is for all projectors

~	X	X	X	X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command ID			space	variable	carriage return

Function							ASCII	Pass	Fail
Power			On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX00 n	P	F
Re-sync							~XX01 n	P	F
Direct Source Commands		HDMI 1				n=1	~XX12 n	P	
		VGA 1				n=5			
		VGA 1 Component				n=8			
		Video				n=10			
		Component RCA				n=14			
		HDMI 2				n=15			
IMAGE	Display Mode	Cinema				n=1	~XX20 n	P	F
		Bright				n=2			
		Photo				n=3			
		Reference				n=4			
		User				n=5			
		ISF Day				n=7			
		ISF Night				n=8			
		3D				n=9			
	Contrast					n= -50 - +50	~XX22 n	P	F
	Brightness					n= -50 - +50	~XX21 n	P	F
	Color					n= -50 - +50	~XX45 n	P	F
	Tint					n= -50 - +50	~XX44 n	P	F
	Sharpness					n= 0 - +15	~XX23 n	P	F
	Advanced	Noise Reduction				n= 0 - 10	~XX196 n	P	F
		Gamma	Film			n=1	~XX35 n	P	F
				Curve Type		n=-7 - +7	~XX182 n		
				Offset		n=-5 - +5	~XX183 n		
				Reset		n=1	~XX206 n		
			Video			n=2	~XX35 n		
				Curve Type		n=-7 - +7	~XX184 n		
				Offset		n=-5 - +5	~XX185 n		
				Reset		n=1	~XX207 n		
			Graphics			n=3	~XX35 n		
				Curve Type		n=-7 - +7	~XX186 n		
				Offset		n=-5 - +5	~XX187 n		
				Reset		n=1	~XX208 n		
			Standard			n=4	~XX35 n		
				Curve Type		n=-7 - +7	~XX188 n		
				Offset		n=-5 - +5	~XX189 n		
				Reset		n=1	~XX209 n		
		PureEngine	PureMotion	OFF		n=0	~XX190 n		
				LOW		n=1	~XX190 n		
				MED		n=2	~XX190 n		
				HIGH		n=3	~XX190 n		
				120Hz		n=4	~XX190 n		
			PureDetail	OFF		n=0	~XX41 n		
				1		n=1	~XX41 n		
				2		n=2	~XX41 n		
				3		n=3	~XX41 n		
			PureColor	OFF		n=0	~XX42 n		
				1		n=1	~XX42 n		
				2		n=2	~XX42 n		
				3		n=3	~XX42 n		
				4		n=4	~XX42 n		
				5		n=5	~XX42 n		
			PureEngine Demo	OFF		n=0	~XX197 n		
				H Split		n=1	~XX197 n		
				V Split		n=2	~XX197 n		
		Color Settings / *RGB Gain/Bias*	RGB Gain/Bias	Red Gain		n= -50 - +50	~XX24 n		
				Green Gain		n= -50 - +50	~XX25 n		
				Blue Gain		n= -50 - +50	~XX26 n		
				Red Bias		n= -50 - +50	~XX27 n		
				Green Bias		n= -50 - +50	~XX28 n		
				Blue Bias		n= -50 - +50	~XX29 n		
				Reset		n=1	~XX33 n		
			Color Temperature	Warm		n=1	~XX210 n		
				Medium		n=2	~XX210 n		
				Cold		n=3	~XX210 n		
			Color Space	Auto		n=1	~XX37 n	P	F
				RGB (0-255)*	* RGB (0-255) supports when HDMI is detected	n=2			
				RGB(16 - 235)*	*RGB(16 - 235)supports when HDMI is detected	n=4			
				YUV		n=3			
DISPLAY		Format	4:3			n=1	~XX60 n	P	F
			16:9			n=2			
			LBX			n=5			
			Native			n=6			
			Auto235			n=8			
			SuperWide			n=9			
		Edge Mask				n=0-5	~XX61 n	P	F
		Zoom				n=0-10	~XX62 n	P	F
		V Image Shift (16:9)				n= -50 - +50	~XX64 n	P	F
		V Keystone				n= -30 - +30	~XX66 n	P	F
		3D	3D Mode	DLP Link/VESA 3D		n=1/n=2	~XX230 n	P	F
			3D->2D	3D / L / R	2D->2D; 3D->3D / 3D->L /3D->R	n=1/n=2/n=3	~XX400 n	P	F
			3D Format	Off/SBS/Top and Bottom/Frame Sequential	Decoding HDMI1.3 3D timing	n=0/n=1/ n=3/n-4	~XX405 n		
			3D Sync. Invert	On/Off		n=0/n=1	~XX231 n		
		SuperWide	Off			n=0	~XX199 n	P	F
			On (16:9)			n=1			
			On (2.35:1)			n=2			
			Auto			n=3			

~	X	X	X		X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command ID				space	variable	carriage return
SYSTEM	Menu Location	Top Left				n=1	~XX72 n	P	F
		Top Right				n=2			
		Centre				n=3			
		Bottom Left				n=4			
		Bottom Right				n=5			
	Lamp Setting	Lamp Hour	Lamp hour			n=1/ n=2	~XX108 n	nnnn	F
		Lamp Reminder	On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX109 n	P	F
		Lamp Mode	Bright/STD/ Image AI			n=1/n=2/n=3	~XX110 n	P	F
		Lamp Reset	Yes			n=1	~XX111 n	P	F
			No			n=2			
	Projection	Front-Desktop				n=1	~XX71 n	P	F
		Rear-Desktop				n=2			
		Front-Ceiling				n=3			
		Rear-Ceiling				n=4			
	Test Pattern		Off / Grid / White			n=0/n=1/n=2	~XX195 n		
	Background Color	Blue				n=1	~XX104 n	P	F
		Black				n=2			
		Grey				n=6			
	12v Trigger		Off\On			n=0/n=1	~XX192 n		
SETUP	Language	English				n=1	~XX70 n	P	F
		German				n=2			
		French				n=3			
		Italian				n=4			
		Spanish				n=5			
		Portuguese				n=6			
		Polish				n=7			
		Dutch				n=8			
		Swedish				n=9			
		Norwegian/Danish				n=10			
		Finnish				n=11			
		Greek				n=12			
		Traditional Chinese				n=13			
		Simplified Chinese				n=14			
		Japanese				n=15			
		Korean				n=16			
		Russian				n=17			
		Hungarian				n=18			
		Czech				n=19			
		Arabic				n=20			
		Thai				n=21			
		Turkish				n=22			
	Input Source	HDMI 1				n=1	~XX39 n	P	F
		HDMI 2				n=7			
		VGA				n=5			
		3 x RCA Comnponent				n=8			
		Video				n=10			
	Source Lock		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX100 n	P	F
	High Altitude		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX101 n	P	F
	Information Hide		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX102 n	P	F
	Auto Power Off (min)					n=0-180	~XX106 n	P	F
	Signal	Automatic	Enable/Disable			n=1/n=0	~XX91 n		
		Frequency*Tracking*				n=0~ 100	~XX73 n	P	F
		Phase				n= -50 - +50	~XX74 n	P	F
		H. Position				n= -50 - +50	~XX75 n	P	F
		V. Position				n= -50 - +50	~XX76 n	P	F
		White level				n=-50-+50	~XX200 n		
		Black level				n=-50-+50	~XX201 n		
		Saturation				n=-50-+50	~XX202 n		
		Hue				n=-50-+50	~XX203 n		
		IRE	0 IRE / 7.5 IRE			n=1/n=0	~XX204 n		
	Reset		Yes			n=1	~XX112 n	P	F
			No			n=2			
Projector ID						n = 00 - 99	~XX79 n	P	F
Reset System Alert						n=1	~XX99 n	P	F
Information from Projector Automatically									
when:	Standby Mode					a=0		INFO**a**	
	Warming up					a=1		INFO**a**	
	Cooling Down					a=2		INFO**a**	
	Out of Range					a=3		INFO**a**	
	Lamp Fail					a=4			
	Thermal Switch Error					a=5			
	Fan Lock					a=6			
	Over Temperature					a=7			
	Lamp Hours Running Out					a=8			
READ/Return Information from projector									
	Information					n=1	~XX150 n	Ok**abbbbccdddde**	
		a = Power State	Off\On			a=0/1			
		b = Lamp Hour				bbbb			
		c = Input Source Commands	None			c=00			
			VGA			c=02			
			Video			c=05			
			HDMI1			c=07			
			HDMI2			c=08			
			Component			c=11			
		d = Firmware Version				dddd			
		e = Display mode	None			e=0			
			Cinema			e=1			
			Bright			e=2			
			Movie			e=3			
			sRGB			e=4			
			User(1)			e=5			
			User2			e=6			
			ISF Day			e=7			
			ISF Nigh			e=8			
			3D			e=9			
	Model Name						~XX151 n	Ok**a**	a=1 HD83 a=2 HD33
			Depends			a=0/1/2			
	RS232 Version No					n=1	~XX152 n	Ok**a**	
			Depends			a=??			
		Input Source Commands	None/VGAVideo/HDMI1/HDMI2/Component			n=1	~XX121 n	Oka	a=0/2//5//7/8/11
		Software Version				n=1	~XX122 n	Okdddd	
		Display Mode	*Cinema*/Bright/*Photos*/Reference/User/ ISF Day/ISF Night/3D			n=1	~XX123 n	Oka	a=1/2/3/4/5/7/8/9 Cinema=1 Bright=2 Photo=3 Reference=4 User=5 ISFDay=7 ISFNight=8 3D=9
		Power State	On/Off			n=1	~XX124 n	Oka	a=1/0
		Brightness				n=1	~XX125 n	Oka	

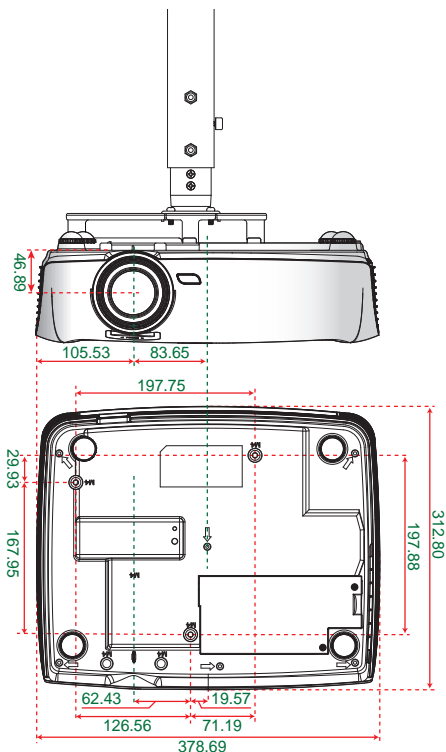
~	X	X	X		X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command ID				space	variable	carriage return
		Contrast				n=1	~XX126 n	Oka	
		Format	4:3/16:9/LBX/Native/Auto235/SuperWide			n=1	~XX127 n	Oka	a=1/2/5/6/8/9 for 4:3/16:9/LBX/Native/Auto235/SuperWide
		Color Temperature	Warm/Medium/Cold			n=1	~XX128 n	Oka	a=0/1/2 Warm/Medium/Cold
		Projection Mode	Front-Desktop Rear-Desktop Front-Ceiling Rear-Ceiling			n=1	~XX129 n	Oka	a=0/1/2/3 for Front-Desktop/Rear-Desktop /Front-Ceiling/Rear-Ceiling
	RS232 Commands for HD33 Remote								

Remote Control							
		Up/Page +				n=10	~XX140 n
		Left/Source				n=11	
		Enter (for projection MENU)				n=12	
		Right/Re-SYNC				n=13	
		Down/Page -				n=14	
		Menu				n=20	
		Re-sync				n=41	

天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い。
   - ネジの種類：M4*3
   - 最大ネジ長：10mm
   - 最小ネジ長：7.5mm

❖ プロジェクタを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

警告：
1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. 天井とプロジェクタの底部には少なくとも 10cm の間隔をあけておくようにしてください。
3. 熱源の近くにプロジェクタを取り付けないでください。

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ

2420 Meadowpine Blvd., Suite #105
Mississauga, ON, L5N 6S2, Canada
www.optoma.ca

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford
Business Park Watford,
Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル: +44 (0)1923
691865

+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

ベネルクスBV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
オランダ
www.optoma.nl

+31 (0) 36 820 0253
+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

Spain

C/ José Hierro,36 Of. 1C 28522
Rivas VaciaMadrid,
Spain

+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg. 33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター：0120-380-495

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-2218-2360
+886-2-2218-2313
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクタ総則の一覧です。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- ❖ 受信アンテナの方向または位置を変える。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- ❖ 販売店やラジオ/テレビの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドされたケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

FCC準拠に責任を持つ製造者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダにお住まいのユーザーへ

このクラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l′intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄物についての指示
この電子装置を廃棄する際、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、リサイクルしてください。